

富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議
平成 28 年度第 1 回 中小企業支援専門部会（要旨）

1 日 時：平成 28 年 5 月 17 日（火）13：30～15：30

2 場 所：富山県民会館 401 号室

3 説明事項

（1）平成 28 年度 富山県中小企業振興施策等について

（2）富山県ものづくり産業未来戦略雇用創造プロジェクトの概要・スケジュール（案）」
について

4 委員からの主な意見

【中小企業の新規採用の取組みについて】

・あるアンケートによれば、県内企業の課題の 1 位が人材不足、2 位が計画的な採用が困難という結果が出ているので、このことについて対策を検討する必要がある。良い事例としては、県内での説明会と比べ、県外（首都圏、中京圏）の富山出身の学生への説明会は反響も大きく、今後も積極的に開催するべき。

・テレビCMでイメージアップを図ったり、新規採用予定のリストを作ったり、インターン事業を実施している。

・その企業の定着率が悪いことが、企業の評価につながっている。

・かつて小学校等で盛んに実施していた工場見学について、今は少なくなっているのではないか。

・大手企業ならまだしも、中小の会社には新卒は見向きもしないので、転職者や、研修生に頼っているのが現状。研修生も中国人はもうあまり入ってくれなく、ベトナム、インドネシア、ミャンマーに移っている。入ってくれるためには、展示会に出るなどして元気に活動していることをPRすることが大事。

・薬業連合会では、昨年、薬剤師のインターンシップを始めたところ採用実績があった。企業紹介パンフレットの作成や説明会などを全国の大学の薬学部へ送付したり、県内の高校薬業科 2 校に対して説明会を実施しているが、ユニークな取り組みも必要。

・小規模企業の多くは継続的な募集が難しいので、商工会などの少し大きな単位でイベントや説明会を実施し、学生との接点を設けている。

- ・中小企業といっても、300人から10人まで企業規模がまったく異なる。レベルもターゲットも違う。即効性はないが、知名度アップ、処遇改善の自助努力必要。求人票に土曜休み隔週だと誰も来ない。アジアからの採用も視野に入れていく必要がある。

- ・採用スケジュールの短期化により、学生との接触機会が減っている。インターネットの普及により、企業の対応が悪いとすぐに噂が広まる。気をつけたい。ほか、富大や金大の地元優先枠があるといい。

- ・企業の選定材料に福利厚生面を考慮している学生が多く、整備を行うべき。また、入社後の定着率が重要で、新入社員へのヒアリングを隔月ごとに実施するなど、若い人を新人担当にしてうまく交流を図ることが大切だと思う。

【BCP（事業継続計画）について】

- ・熊本地震の教訓もあり意識の高まりは見られるが、富山は近年地震が少ないこともあり、特に小規模企業では策定が進んでいない。

- ・大手企業と取引をするために、地震だけではなく雪害などに対応するBCPについて問われることもある。

- ・小規模企業では、完璧なものをつくるのは難しいので、①人命をどうするか、②知的財産をどうするかこの2点をまず最初に策定すべきでは。

- ・今後はBCM（事業継続マネジメント：組織の事業継続能力を継続的に維持・改善するためのプロセス）が必須となってきている。制度融資等を作れば利用されるのではないか。

- ・協会単位では制定しているが、会員企業等に普及させていくための取り組みが必要。

- ・東海地方の銀行は、被災で引き出し預け入れができなくなった場合他行でできるよう協定を結んでいるが北陸地方の銀行はそこまで進んでいない。

【最近の景況感について】

- ・改善がみられるものの、中国経済の影響で一部減速が見られる。倒産も減少しているが、一部与信費用が増え始めている。

- ・小規模企業は若干悪化している。特に建設業は公共事業の受注がない。良い面としては新幹線効果で駅周辺の飲食、旅館など、サービス業が潤っているが、滑川、魚津、朝日、入善といった新幹線が停まらなくなったところが悪化している。

- ・ 建材は大きく伸びる要素見られない。産業機械の車両は伸びている。建材から新分野開拓・転換に向かうべき。

- ・ 繊維業界は横ばいから若干減少。大手は在庫が増えているのでその影響が出ている。とにかく、ものづくりに取り組んで、繊維の知名度を上げていきたい。

- ・ 医薬品は県外からみれば絶好調に見えている。富山県の弱いところは中心商店街。「商店街空き店舗出店支援モデル事業」が、たった 300 万円の予算で中心商店街の活性化は期待できない。若者が創業できるよう家賃補助・ビックデータの等の側面支援がもっと必要。県の頑張りで「何もない富山」から何でもある富山にイメージが変わってきているのはいいこと。

- ・ 化学業界の決算は昨年並み。他の業界に比べて半年遅れてくる。スマホ材料部品の企業は見通しが厳しいという声がある。

- ・ 景況調査では、「変わらない」、「好転する」が多かった。アンケートに答えていない企業が苦しいかも。ビジネスマッチングを自分たちでやろうとしている。